

議会だより



大雪の中行なわれたさいのかみ

特集

西桂の町政を考える

議会と区長との座談会 4～7P

一般質問（滝口新一朗議員）…… 10～11P

- ① 平成17年度予算編成の基本方針について
- ② 地震防災・火山防災対策について
- ③ 児童生徒の安全確保について

地域で活躍する団体を訪ねて

手話サークル 美水会 15P



Nishikatsura

平成17年1月26日発行



議長 郷田 和美

新年明けましておめで
とうございます。町民の
皆様には希望に満ちた輝
かしい平成十七年の新春
をお迎えのこととお慶び
申し上げます。

昨年を顧みますと異常
気象による各種災害や新
潟中越大地震など自然災
害の恐ろしさと防災に対



副議長 若林 泰置

町民の皆様、明けまし
ておめでとうございます。
町政運営につきましては、
常日頃からご理解とご協
力を賜り、厚く御礼を申
し上げます。さて一年の
計は元旦にあり。心新た
に今年こそ良い年にした

する安心安全な地域づく
りの重要性を痛感させら
れた年でした。一方では
地方自治を取り巻く環境
も三位一体改革に伴い厳
しい財政状況の中大きな
変革の時代を迎えており
ます。このような時こそ
現実を直視した適切な対
応と創意工夫を凝らした
諸改革に積極的に取り組
み、多様化する諸課題の
解決を着実に図ってい
かなくてはなりません。

で、議会といたしまして
も今後とも民主的かつ公
平で円滑な議会運営を心
がけ、町民の皆様に関し
まれる、開かれた議会を
目指してまいり所存でござ
いますので今後ともご
指導ご協力を賜りますよ
うお願い申し上げます。
最後に町民の皆様のご
健勝とご多幸をご祈念申
し上げ、新年のご挨拶と
いたします。



いものです。私たちにと
りましてはまだまだ厳し
い情勢が続くものと思わ
れます。その厳しさに打
ち勝つためにはまず健康
であることが第一であり
ます。ここで皆様に何か
趣味を持つことをご提案
いたします。何でもよい
ので興味のある事、得意
な分野、これに打ち込ん
でみてはいかがでしょうか。

町当局も町議会も行政
のスリム化、また効率化

に真剣に取り組む、希望の
もてる町づくりに努力し
ているところです。今後、
町議会といたしましては、
議会の果たすべき役割と
責任を自覚し、町民の皆
様のご期待に添うよう決
意を新たにしております。
ここに、町民の皆様のご
多幸をお祈り申し上げ
まして、新年のご挨拶と
いたします。



謹賀新年

平成17年



滝口幸雄 議員



梅原和男 議員



渡辺正一 議員



滝口新一郎 議員



石原 滋 議員



宮下友義 議員



勝俣照雄 議員



議会の構成が変わりました

付議された全議案は承認・可決されました

12月定例会本会議

西 桂 町 議 会 構 成 一 覧 表

議 長 郷 田 和 美

副議長 若 林 泰 置

総務常任委員会

委員長 勝俣 照 雄
副委員長 滝口 幸 雄
委 員 宮下 友 義 渡辺 正 一
郷田 和 美

総務、企画振興、住民福祉関係の調査・
議案審査・請願陳情審査を行う。

建設文教常任委員会

委員長 滝口 新一郎
副委員長 梅原 和 男
委 員 石原 滋 若林 泰 置

建設、水道、教育関係の調査・議案審査・
請願陳情審査を行う。

議会運営委員会

委員長 宮下 友 義
副委員長 滝口 幸 雄
委 員 石原 滋 勝俣 照 雄
滝口 新一郎

議会広報編集委員会

委員長 渡辺 正 一
副委員長 滝口 新一郎
委 員 宮下 友 義 梅原 和 男

市町村合併調査特別委員会

委員長 宮下 友 義
副委員長 若林 泰 置
委 員 渡辺 正 一 梅原 和 男 滝口 幸 雄 郷田 和 美
滝口 新一郎 勝俣 照 雄 石原 滋

12月定例会は平成16年12月9日に招集され、同日に本会議、この後
会期中に連合審査会、本会議が開催され、9日間の会期をもって、17
日に閉会いたしました。

町長より専決処分1件、議決案件3件、条例3件、補正予算6件、
同意1件、議員発議による意見書1件が提案され、全ての議案が原案
のとおり可決・承認・同意されました。また、小林隆芳議員の逝去に
伴い欠員となった議会運営委員会委員の選任、議会運営委員会正副委
員長の互選、市町村合併調査特別委員会委員長の互選が行われました。

考える 1月12日開催 区長との座談会



住民皆様のご意見等を議会広報の紙面に反映させるため、また今後の議会活動に生かすため、「西桂の町政を考える」をテーマに座談会を企画し、住民皆様に代表して、全5地区の区長さんにご出席をお願いいたしました。

平成17年1月12日の新春、新区長さんには任期1年間の抱負と、町政に対する住民の期待を語っていただきました。

新区長・区行政への抱負を語る

司会 本日の司会を務め

ます議会広報編集委員長の渡辺です。住民の皆様のご意見等を議会広報の紙面に反映させるため、今年も座談会を企画しました。

それでは、議会を代表いたしましたして郷田議長よりごあいさつを申し上げます。

議長 新年明けましておめでとうございます。本日の座談会を企画したところ、多忙中にもかかわらず、全地区の区長様に出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、区長様方には、ご就任おめでとうございます。区行政発展のため、1年間

ご尽力賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

なお、本日区長様方よりいただく貴重なご意見は、議会だよりとともに議会活動に反映させていただきます。どうか、き たんのないご意見をお願いいたします。

司会 さっそく座談会に入らせていただきます。

ここで新春にふさわしく区行政への抱負等を語っていただきたいと思います。



川村区長さん

倉見区長

倉見区長に就



渡辺区長さん

柿園区長

区民の皆様か

公民館建設問題に取り組む

任いたしました川村です。任期中は区民の皆様と一体となり、勤めさせていただきます。災害の多い昨今、新しい区民の多くが山すそに住んでおり、地震や災害に備え、消火栓、防災器具の場所、避難場所等を記した倉見区のマップを作っていただけだと思います。



老朽化の激しい柿園公民館



草野区長さん

本町区長

本町地区の皆

ら推薦を受けまして柿園区長に就任いたしました渡辺です。柿園区においては懸案の公民館建設が1番の重要課題です。前区長からも引継ぎ事項で伺っていますが、建設促進委員会の再度の立ち上げを総会においてご承認いただき、1日も早い公民館建設に向けて頑張っています。

本町地区の皆様からご推挙を受けまして区長に就任いたしました草野です。区民の皆さんの意見を吸い上げ、それらを1つ1つ実行して住みやすい安心な町づくりに貢献したいと思っています。

特

集

西桂の町政を 新春・議会と



県道富士吉田西桂線新ルートはここから

います。



佐藤区長さん

上町区長 上町区長の重職を拝命いたしました佐藤です。1年間区の運営を組長さんと一丸となり、議員の皆様、各種団体の皆様のご協力をいただき、区民の皆さんに理解していただけるような



永田区長さん

下暮地区長 下暮地区

仕事をしていきたいと思っております。また、県道富士吉田西桂線の計画をお聞きし、どのような形で進めていくのか、他の区長さんとともにさまざまな面で努力していきたいと考えています。

より区長に推挙されました永田です。1年間地域住民と行政のパイプ役として働かせていただいたと思っています。区民の皆様からの切なる要望事項の具現化のため、地域、行政、議会の皆様方の英知を集めていただき、努力していきたいと思っております。長年の懸案であります、第5分団詰所を今年建設していきたいと思っております。多方面からのご指導・ご鞭撻を賜りたいと思います。

町行政・ 議会に期待 すること

司会 続きまして町行政と町議会に対して望むことということで、ご意見などを述べてください。
柿園区長 第2分団詰所から都留市側にかけて、国道の側溝の流れがよどんでおり、ひどいところでは50cmほど溜まっています。

るので、改修を図っていただきたいと思います。

また、郷土公園の樹木の成長に伴い、日中も暗い状態です。樹木の枝打ちをし、外灯の設置をお願いいたします。

議長 側溝については国土交通省の管轄なので、議会からも働きかけ、建設課から要請していただきます。外灯設置については区要望として出しておいてください。

県道富士吉田西桂線の ルート説明を

上町区長 県道富士吉田西桂線建設ルートの噂が一人歩きしています。建設計画についてわかっている範囲でご説明いたします。

議長 議会だより45号に議会に説明のあったものについては掲載しております。9月の時点でのものですが、今後の計画ということで載せておりますので、議会だよりにも関心を持っていただき、

見ていただきたいと思えます。

また、住民の皆様にも見ていただくよう啓蒙をしてほしいと思います。

滝口（新）委員 新ルートの概略についてのみ、町から説明を受けました。具体的な地番等を挙げての説明はまだされておりません。

上町区長 区長も道路建設促進委員になっているのでしうか。

議長 議員6名、全区長5名の他、学識経験者として農業委員4名、中学校長が委員になっていきます。

消防団詰所建設に 補助を

下暮地区長 各区の公民館建設には、町は特別補助金という形で100%協力することです。詰所建設については前例がないから補助金はないとのことをお聞きしています。公民館にはYLO的機能があるから町

平成17年 新春座談会

で全面的に協力し、詰所の場合はそういう機能がないから今のところ協力できないとの基本的な考え方です。詰所は西桂町消防団「〇〇」分団詰所といって、公民館と別格のものとは思えませんが、果たして区分できるものなのかどうか疑問を抱くところです。

下暮地の詰所のみならず、他の分団でも詰所の増改築が近々に見えてきていますので、町当局として一定の方向性を出していただきたいと要請するところですが、その点についても議会の後押しをお願いいたします。

議長 町では富士五湖広域消防に対して多額の負担金を支払っており、財政厳しい折、難しいのではないかと思います。地域防災の観点から非常に重要ですので、議会といたしましては、執行部に対して一定の方向付けを示していただけるよう、お願いしていききたいと考えております。

下暮地区長 近隣市町村を調べてみますと、都留市では地域防災上極めて重要とのことで補助が出ているようですので、町当局に対して調査をしていただくよう、ご提案をお願いいたします。

桂川公園進入路の建設を

本町区長 桂川公園進入路の建設について、現時点では地権者全員の同意を得てはいませんが、要望を提出しております。賛同が得られましたら議会でも建設に対する町当局への後押しをお願いします。

副議長 昨年12月7日に前区長さん、組長さん、地権者の皆さんに公民館に集まっていたとき、地権者の皆さんから賛同を得たところです。この問題については一部の土地と道との境界線が定まっていますので進捗していませんでしたが、境界の確定に伴って設計の了解を得たところ

です。引き続き、新区長さんにも頑張っていたいただき、皆さんをまとめていただきたいと思います。

旧貯水槽の災害時活用を

倉見区長 新水源地の完成に伴い、従来使用してきたポンプアップの貯水槽を廃棄するという話を聞きましたが、災害時の備蓄用として撤去しないでいただきたいと思います。また、富士吉田市との境にある米倉橋付近の桂川に土砂を落としている者がおり、土砂以外に廃油等が流れ込む恐れがありますので、対策を講じていただきたいと思います。

議長 貯水槽撤去については水道課に話をしておきます。区からも要望として提出してください。

渡辺委員長 米倉橋のところの対策については早速に町に申し出ておきます。

上町区長 昨年の区要望



第5分団詰所建設予定地

事項に対する町の回答書を見ますと、町道拡幅改良について用地確保ができたが実施との回答がございしますが、区としてはどこまでの責務があるのでしょうか。区が用地確保をしなければならぬということでしょうか。

議長 有償・無償に関わらず、道路拡幅については地権者の協力が必要不可欠です。区長さんを始めとする区の方々については町当局とともに地権者の協力をお願いしてい

ただくということかと思えます。

下暮地区長 町では少子高齢化に伴い人口が漸減しており、町存続のために、何とか食い止めなければならぬ極めて重大な課題と思いますが、早急な対策が議会側におありでしょうか。また、遊休農地、山地の活用が進んでおらず、下暮地区における標高630mから640mほどの地域で未開発のまま残っていると

座談会参加者
(順不同、敬称略)

議長	長	郷田 和美
副議長	長	若林 泰置
倉見区長	川村 勝造	
柿園区長	渡辺 克豊	
本町区長	草野富三男	
上町区長	佐藤 工	
下暮地区長	永田 光明	

議会広報編集委員会

委員長	渡辺 正一
副委員長	滝口新一朗
委員	宮下 友義
委員	梅原 和男
議員	滝口 幸雄
議員	勝俣 照雄
議員	石原 滋



当局に対する要望についての議会の後押しをお願いいたします。

議長 少子高齢化については、西桂町に限らず全国的な問題で、町でも保育所運営等に工夫を凝らし、細かい施策を講じているところですが、特効薬はないようです。子育てにお金のかかる問題とかがございますし、一口にこうすればよいと言うものはありません。議

会としましては執行機関のチェック機関として努力をしているところでですので、ご理解いただきたいと思います。また、開発の問題については、町の財政厳しい折、非常に難しい問題ですが、議会としてお役に立てるよう、頑張りたいと思っています。

石原議員 非常に貴重な意見であり、新区長さん、また今後区長職に就任される方のことも踏まえ、町当局には休日夜間での会議等を検討されるよう働きかけていきたいと考えています。役場職員の都合で平日に予定されているようなものについては積極的に夜間等にすべきだと思っています。

会議時間の改善を

上町区長 日々の勤めもありますので、町当局には平日の日中になるべく事業や会議を避けていただくよう、会議時間の改善をお願いしたいと思います。

本町区長 国家公務員の給与に対する役場職員の給与の率は89%程度と非常に厳しい状況のようであり、議会も同様だと思いますが、そのような中で議会も職員も頑張っているように思います。そのようなことを知らない

町民の方も多いので、もっとPRをしてみているかがですか。

議長 知恵を絞って努力していきたいと思っています。

宮下委員 議会広報編集委員会として日々議会だよりのPRをしています。数字的なものが載った、難しい言葉が載った、りするとつまらないの、ことを聞いています。議会だよりへの意見はあります。ぜひ町民の皆様にも読んでいただくよう



再活用が望まれる倉見貯水槽

啓蒙をお願いします。

上町区長 議会だよりへの読者の声も暖かいものもありますので、それを励みに頑張ってください。

教育施設の地域開放に向け 中学校多目的ホールで成人式を挙行

前田町長
所信表明

平成16年12月定例本会議



売上げ好調なバナジウム水

自然との共生づくり

桂川公園事業では、12月11日から1月16日にかけて、ふれあい橋ライトアップ及びイルミネーションの点灯をします。

育ち学ぶ環境づくり

「教育施設の充実と地域開放の推進」ですが、西桂中学校前庭外構工事について、潤いのある植栽を施し、より一層の教育環境整備に努めていく考えです。また、図書室の開放は月2回・土曜日に実施しています。さらに多くの町民の方々に利用できるように、一般向けと幼児向けに蔵書数を増やし、図書室の充実を図るところです。多目的ホールの有効活用についても社会教育関係の事業

活力づくり

を中心に有効利用が図られており、新年1月9日の成人式は、多目的ホールでの実施で準備を進めています。

「商工業の振興」について、柿園長塚地区の町有地の有効利用については、先般、水耕栽培による農産物の生産・販売を計画している企業から、町有地を利用したいという申し出がありました。町の農業振興・高齢者の雇用の創出などにつながることから、県等の関係機関と協議に入ったところです。

続いて、小規模商工業者助成事業の利子補給についてです。この制度は、小規模商工業者の経営基盤の強化を促進し、商工

業の健全な発展に資することを目的とした制度であり、平成17年1月より、商工会が窓口となり申請の受付を開始します。

続いて、「グリーンセンターにおける交流拠点の形成」についてですが、各施設の利用、特産品販売のそばの芽・富士山のうまい水・バナジウム入り元祖富士山のうまい水も、計画どおり順調に推移しています。なお、年末年始については、12月26日まで営業し、平成17年1月2日より営業を再開しますので多くの皆様のご利用をお願いします。

ふるさと景観の整備

「ふるさと景観の整備」における保全松林緊急保護整備事業については、自然景観や治山治水の観

点から深刻な状況下になってきています。町では、緊急雇用対策事業及び県補助事業を導入して進めています。被害は、下

拡大傾向にあります。今後とも引き続き現地調査を行い、被害木の伐採等を進めてまいります。続いて、「農業基盤の整備」についてです。尾



多目的ホールで最初の成人式

12月定例・補正予算の主な内容

会 計 名	補 正 額	補正後の予算総額
議案49 一般会計5号補正	△1千130万1千円	18億3千57万8千円
○中学校植栽工事費の追加 500万円 潤いのある植栽を施し、より一層の教育環境整備のための追加計上です。 ○保育所管外委託費の追加 270万7千円 他市町村の公立・民間保育所に委託している園児数の増加に伴う追加計上です。 ○事業の確定に伴う経費減額 △4千401万円 12月現在までの経費確定に伴い減額するものです。		
議案50 国民健康保険会計2号補正	563万5千円	4億100万6千円
○被保険者療養給付費、療養費等の追加 337万7千円 10月までの実績に基づいて見込額を試算したところ不足となるので追加となりました。		
議案51 老人保健法会計3号補正	4千783万円	4億3千268万4千円
○医療費支給費の追加 4千783万円 10月までの実績に基づいて見込額を試算したところ不足となるので追加となりました。		
議案52 介護保険会計2号補正	315万8千円	1億9千108万1千円
○居宅介護サービス給付費等の追加 315万8千円 居宅介護サービス給付費、居宅支援サービス給付費の追加及び施設介護サービス給付費の減額によるものです。		
議案53 簡易水道会計2号補正	△261万9千円	1億1千978万7千円
○町単配水管布設工事費の減額 △169万円 大根田沢橋梁配水管添架工事の完成に伴う県補償の精算により減額するものです。		
議案54 下水道会計1号補正	△1千687万4千円	2億7千992万8千円
○国道本舗装復旧負担金等の減額 △1千687万4千円 国で施工した国道本舗装復旧工事の完成に伴い負担金を減額するものです。		

県道富士吉田西桂線については、県の公共事業評価委員会が去る11月19日に開催され、その結果、詳細な調査に入っただけの報告を受けました。今後県と打合せを行い、年内あるいは年明けには地区の説明会を行っていただくようお願いしていきます。

「狭隘な道路及び橋梁の改良・整備」について、町道宮下中野線道路拡幅事業として、総延長468mの内、今年度は中学校から富士吉田市に向かって200mの拡幅工事に入っています。この道は国道の朝夕渋滞緩和を図る面で非常に重要な道路ですので、1日も早く完成させたいと考えています。

都市づくり

「狭い道路及び橋梁の改良・整備」について、町道宮下中野線道路拡幅事業として、総延長468mの内、今年度は中学校から富士吉田市に向かって200mの拡幅工事に入っています。この道は国道の朝夕渋滞緩和を図る面で非常に重要な道路ですので、1日も早く完成させたいと考えています。



順調に工事の進む宮下中野線

「町営住宅の更新」ですが、入田団地の浴室改修工事については、昨年完成した1号棟の6戸を除き、本年度は16戸の改修工事を実施しました。

「公共下水道事業の推進」については、現在の加入状況については、32件中20件であり、接続率は62・5%となっています。さらに、17年度は、柿園及び倉見地区の一部において、概ね250世帯が供用開始となりますので、1月より地域住民へ説明会を開催し、加入の促進に努めてまいります。

いっぱん

質 問



町政を問う ここが聞きたい!!

問 17年度当初予算編成の基本的な考えは

答 事務効率化と経費節減により財源確保を



滝口新一朗 議員

問

三位一体改革の先
行き不透明な中、

町長の所信表明にありま
したように、第2次活
活西桂重点施策は、強力
な進展が期待されていま
す。住民ニーズに対応し
た、メリハリのある17年
度の当初予算編成につい
ての基本的な考えをお伺
いします。

町長

三位一体改革は政
府・与党がそれぞ
れ全体像を決定しまし
た。これらの状況を踏ま
える中で、平成17年度予
算編成方針について申し
上げます。

当町においては、町税
収入の大幅な伸びは期待

できず、地方交付税や臨
時財政対策債のさらなる
削減が見込まれることか
ら、平成17年度は、平成
16年度にまして極めて厳
しい状況が予想されます。
また、歳出面では、宮下
中野線拡幅事業・簡易水
道整備事業などを実施し
ながら健全財政を確保す
るためには、相当に厳し
い覚悟で予算編成にあた
る必要があると考えてい
ます。このような観点か
ら、平成17年度の予算編
成にあたっては、職員一
人ひとりがコスト意識を
持つて事務の効率化と経
費の節減を徹底して行う
とともに、収納率の向上
や負担の適正化により自
主財源の確保を図るよう
周知したところです。
特に、①新たな政策課題
への対応など、新規の施

策を展開するにあたり、
今まで以上に創意工夫を
凝らすとともに、既存事
業の見直しを行うこと、
②既存の事務事業につい
ては、原点に立ち返り、
事業の必要性、事業効果
、行政と民間の適切な役割
分担など、総合的見地か
ら検討を加え、廃止、縮
小、整理統合、効率化を
図り、限られた財源の重
点的な配分に努めること
と、③公共事業について
は、個性と活力ある地域
の整備、町土保全、生活
環境のレベルアップなど
の視点に立ち、必要性、
優先性、効果を十分に検
討し、重点化、効率化に
努めること、④町単独補
助金については、所期の
目的の達成度や社会的な
ニーズの変化、行政の責
任分野や経費負担のあり
方などの観点から、補助
目的や行政効果などを十
分に検討し、積極的に見
直しを進めること、など
を指示したところであり
ます。

問 地震防災、火山防災対策は 災害弱者に対する支援策は

答 地域防災計画に基づき取り組み 相互救助による支援体制づくりを

問

山梨県では、想定
される東海地震に
ついて直前予知の可能性
を視野に事前対策計画を
策定し、被害想定調査を
行っているとのこと。

当町においても高齢化社
会に伴う災害弱者支援対
策、避難経路の確保、ヘ
リポート設置等々、防災
体制の強化・確立が早急
に望まれています。近隣
地域との連携も視野に入
れた地震防災対策につい
て、お考えをお伺いた
します。

また国の富士山ハザード
マップ検討委員会は16
年の6月、富士山は活火
山と規定し、噴火した場
合の被害予測などを記し
たハザードマップを完成
し、現在当町でも配付さ
れ活用されております。
富士山の火山防災につい

て、ハザードマップの活
用も含めたお考えをお伺
いたします。

町長

西桂町としまして
は、地域住民の生
命・身体・財産を災害か
ら保護することを目的と
した西桂町地域防災計画
を作成し、災害に強い町
づくりに取り組んでいる
ところです。

その中で、避難所につ
いては、耐震性から小学
校・中学校・いきいき健
康福祉センターを指定し
ており、風水害等の場合
は、YLO会館や保育所
も指定しています。また、
山梨県防災ヘリコプター
の応援協定もあり、緊急
ヘリポートとしては、中
学校校庭・町民グラウンド
を指定しています。

平成13年7月に富士北
麓地域の8市町村で構成

した富士火山防災協議会が発足し、15年12月に、あらゆる災害が発生又は、予測できる場合、構成市町村で応援・協力し、救助、救護及び避難活動を確保することが確認されています。

また、16年の11月には、静岡県富士宮市において、環富士山市町村による新たな火山防災協議会設置に向けた準備会が開かれ、県境を越えた広域的な体制づくりが検討されています。

過日、富士火山防災協議会で各戸に配布した「富士山を知る・富士北



自主防災組織を中心とした防災訓練

麓住民ガイドブック」は、火山の噴火で発生するさまざまな現象などを紹介したもので、ハザードマップについては、現在、富士火山防災協議会で調整し、国の専門機関が中心となり、データ等を収集しているところです。

住民の皆様にも、いざという時のための対応について、心がけておいていただきたいと思います。

問

当町においては、一人暮らしの70歳以上の方は33人、高齢者世帯は50世帯、要介護の方は100人以上と聞いていますが、そのような

災害弱者に対する支援についてのお考えをお尋ねします。

町長

災害弱者に対する対応については、日頃から防災に対する意識をお持ちいただき、地域の方々一人ひとりの協力体制がもつとも重要ではないかと思っています。

そこで、各区長を中心とした自主防災組織や消防団に対して、各地域内の一人暮らしの高齢者や高齢者世帯などの把握をしていただき、いざという時の避難誘導や安全確保について、地域が一体となつて取り組めるような体制づくりをお願いしたいと考えています。

地域内に存在する各種団体や個人の協力を得て、災害に対する意識の高揚を図り、相互救助を基調としたボランティアの育成と連携による支援体制づくりであります。また、平素から消防団には、町内巡回の際にも、気にかけていただけるようお願いしております。

問

児童生徒の安全確保対策は

答

家庭や地域が連携を密にし
犯罪未然防止を

問

最近では各種情報伝達機器の発達に伴い、各学校においても児童の登下校中の安全確保に対し各種機器の普及が図られている傾向にあります。基本は児童を中心に保護者、地域が一体となり、声かけ運動や相互のコミュニケーション等、日々の地味な努力の積み重ねが大切とされます。

最近の忌まわしい事件の多発する世相を鑑み、事件の発生を未然に防止すべく、その対策についてお伺いいたします。

教育長

学校と連携する中で、第一に、昨年2月には小・中学校の児童・生徒全員に防犯ブザーを貸与し、登下校時、外出時には必ず携帯するよう指導をしています。



子どもを魔の手から守ろう

第二に、平成10年度に都留警察署と協力し町内に「子ども110番の家」を設置いたしました。が、通学範囲が拡大化傾向にあることを考慮し、小学校・西桂町青少年町民会議と協議する中で、現在の20ヶ所を50ヶ所に増やし、選定した家庭に対し協力要請を行う見直し作業を進めているところで

第三として、中学校において下校時に、教職員により車に「巡回中」のステッカーを貼り、町内のパトロールを実施しております。

いづれにしても不審者対策は、家庭や地域の関係機関・団体等が連携を密にし、事故の未然防止に努めてまいりたいと存じます。

郵政事業経営形態確保のため 国に対して意見書を提出

あなたの 請願・陳情は



郵政事業経営形態に 関する意見書（要旨）

現在、郵政事業のあり方について民営化の論議がされ、必ずしも民意に沿った方向に動いているとは思えません。郵便局は郵便・貯金・簡易保険の三事業を通じて地域社会に密着したサービスを提供しており地域になくてはならないものです。

仮に、民営化が進められれば郵便サービスは大都市など採算を重視した収益性の高い地域に集中し、採算の取れない郡部ではサービスの低下のみならず、郵便料金の値上げも懸念されます。また、多くの郵便局の廃止も考えられ、郵便貯金や簡易保険の利用にも不便を生じ、これまでのサービスを受けられない恐れがあり、生活に与える影響も大きなものがあると思います。

つきましては、国においては、郵政事業がこれまで果たしてきた役割を考慮し今後とも国営、非営利の公社を維持するよう強く要望します。

平成16年12月17日

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、衆議院議長、

参議院議長

採択となりました

請願2 郵政事業経営形態に関する
請願書

○提出者

・西桂町寿クラブ連合会長

前田和嘉

○要旨 意見書提出の要請

○紹介議員 石原 滋

全議員に配布しました

陳情4 予算要求実現、「憲法と暮らしを守る」自治体への要請書

○提出者

・県民要求実現大運動実行委員会

○要旨

依然厳しい失業・雇用情勢のなか、働く者の生活低迷や中小企業の経営不振が自治体財政に限りない影響を及ぼしている状況下において、いのちと暮らし、地域経済を守るため、自治体が大きなリーダーシップを発揮することを要請する。

12月定例会 審議案件

「専決処分」1件

承認14 平成16年度西桂町一般会計補正予算第4号議定

○個人からの寄附により中学校図書館の蔵書を増やす補正予算。支払期日との関係上専決処分とした。

「議決案件」3件

議案43 甲斐市、身延町、

笛吹市及び北杜市の設置に伴う組織及び規約の変更関連議案

○市町村合併に伴う組織及び規約の変更

「条例」3件

議案46 西桂町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定

○電子申請関連の通則条例

議案47 西桂町敬老祝金支給条例の一部改正

○県の条例改正に伴う対象年齢と支給額の改正

議案48 西桂町心身障害者福祉手当支給条例の廃止

○支援費制度の導入により町単独事業である手当支給を廃止

「補正予算」6件

平成16年度各会計補正予算

○別記説明

「同意案件」1件

同意5 固定資産評価審査委員選任につき同意を求める



渡辺和典 委員

「議員発議」1件

意見書提出

○別記説明

小林隆芳議員、ご逝去 謹んでご冥福をお祈りいたします



故 小林 隆芳 議員

小林隆芳議員議員履歴

- 平成13年5月2日 議会運営委員長就任
- 平成14年5月8日 建設文教常任委員就任
- 平成14年10月28日 議会運営委員就任
- 平成14年12月11日 適正な議員定数を定めるための調査特別委員会委員就任
- 平成15年4月29日 合併協議会設置に関する特別委員会委員就任
- 平成15年4月30日 任期満了につき退任
- 平成15年5月18日 議会運営委員長就任
- 平成15年5月16日 建設文教常任委員就任
- 平成16年11月16日 総務常任委員長就任
- 平成16年5月18日 議会運営委員長就任
- 平成15年12月19日 市町村合併調査特別委員長就任
- 平成15年4月30日 西桂町議会議員に就任
- 平成15年4月29日 総務常任委員長就任
- 平成15年4月29日 議会運営委員就任
- 平成15年4月29日 議会広報編集委員就任
- 平成11年4月29日 任期満了につき退任
- 平成11年4月30日 西桂町議会議員に就任
- 平成11年5月13日 建設文教常任委員長就任
- 平成11年5月13日 議会運営委員就任
- 平成12年5月2日 議会広報編集委員就任
- 平成12年5月2日 総務常任委員長就任
- 平成10年5月11日 建設文教常任委員長就任
- 平成9年5月8日 建設文教常任委員就任
- 平成8年5月7日 第37代副議長に就任
- 平成8年5月7日 総務常任委員就任
- 平成7年5月8日 建設文教常任委員就任
- 平成7年4月30日 西桂町議会議員に就任
- 平成7年5月8日 建設文教常任委員就任
- 平成7年5月8日 議会広報編集委員就任
- 平成7年5月8日 富士五湖広域行政事務組合議会議員就任

謹んで小林隆芳氏の御霊に、哀悼の意を表します。

氏は、平成七年四月に初当選されて以来、連続三期九年の長きにわたり、西桂町議会議員として町政の発展に尽くしてこられました。この間、町議会副議長、常任委員長等多くの重責を担われ、見事なリーダーシップを発揮されましたことは、関係者はもちろん町民のよく知るところでございます。

氏のご功績と、優れた識見、外柔内剛な人格は長らくの議員経験において培われたものとご推察申し上げ、時には議員経験の浅い我々同僚議員として敬服させられる貴重なご提言をなされる事もしばしばでありました。これから益々、町民のため議員として卓越した手腕を発揮されようと期待されておりましたにもかかわらず、お亡くなりになられましたことは、まことに残念の極みであります。今はただ、氏の公共の福祉に献身された尊い御遺志を継いで、及ばずながら町の発展のため、社会のために尽くすことをお誓いし、心よりご冥福をお祈りいたします。

(調査) 県道富士吉田西桂線新ルートの概要は

(結果) 3種3級、幅員11.5mの道路建設を予定 (県工事)

問 県の公共事業評価委
10月か11月に開かれる予定の県の公共事業評価委員会で、間違いなく決定になるのか。

建設課長 以前から町長も富士山噴火の時に逃げ道が1本しかないということで県にも強くお願いをし、県でもこれを進めるとの返事はいただいています。

平成16年10月22日、山梨県で計画している県道富士吉田西桂線新ルートについて説明を受け、新ルートの概要、幅員、今後のスケジュール、道路建設委員会の構成について確認しました。

委員より、12月定例会までにできれば図面を含めて議会に周知できる体制をとっていただきたいとの意見が出されております。

問 新ルートは吉田のどこに接道する予定か。

建設課長 水道の高区タックから先の富士吉田市分はまだ県道に移管されていません。県からも待つてほしいと言われていますし、この先のルートがどこに行くのかについてはまだ聞いていません。

問 三本松付近の道路は相当湾曲しているが、まっすぐになるのか。

建設課長 道路の区分が3種3級という国道並みの道路となるので、あまり曲げない道路になると思います。

問 新ルートの幅員は11・5mとのことだが、現在の県道で、中央道バス停付近の幅員はどれほどあるのか。

建設課長 3種4級、全幅が8・75mという道路です。県では将来拡幅していきたいという構想はあります。

問 土地の収用ができずに一部狭くするというようなことはないか。

建設課長 全線この幅員でいくと聞いており、用地交渉に時間がかかって、最終的にはこの幅員で全線を通す計画のようです。

問 県道建設に対する町の負担はあるのか。

建設課長 地元負担金は一切ありませんが、ある程度協力的な工事が出てくるかもしれません。

意見 12月定例会までに図面を含め議会に提示を

建設課長 10月末か11月に県の公共事業評価委員会が開かれると聞いており、決まれば12月の議会で提示できると思います。

問 買収時の土地単価は。

建設課長 詳細な設計が終わっていませんしルートの詳細も不明ですので、土地単価も不明です。事業費は用地費を含めて約10億円以上と聞いています。

問 今回の説明会により住民の方から問い合わせもあると思うが、どの程度公表して良いのか。

建設課長 今日の説明の範囲でお知らせされて結構です。ただ、詳しい内容については地元説明会が開かれた時に聞いていただきたいということを付け加えてください。

問 このスケジュール表のとおりに運ぶ予定か。

建設課長 県の動向によりますので、参考として考えてください。



議会だよりや議会全般、町行政についてのご質問・ご意見・ご感想をお待ちしています。
寄せられましたご質問・ご意見等には議会広報編集委員が責任を持ってお答えいたしますので、下記までお寄せください。

〒403-0022 西桂町議会広報編集委員会 TEL 0555-25-2121 FAX 0555-20-2015
E-Mail gikai@town.nishikatsura.yamanashi.jp

訪問先 手話サークル 美水会

(取材 渡辺・梅原)



取材者と一緒に「ありがとう」！！

問 正式な団体名と名前の由来を教えてください。
武藤 手話サークル美水会で、西桂町がきれいな水で有名なことと、活動日を水曜日としたことから名づけました。

問 どのような方が会員となっているのですか。

武藤 手話に興味を持ち、耳の聞こえない方と会話を楽しみたい方です。ボランティア的要素もあります。

問 会員数と活動内容は。

武藤 男性2名、女性8名の10名です。活動内容としては、月2回の学習会の他、子ども達を対象とした手話教室を開催し、昨年も、郡のボランティア交流会で子ども達と一緒に披露しました。その他、近隣市町村の手話サークルと交流したり、手話サークル協議会に加盟し、耳の日フェスティバルなどに参加したりしています。

問 今後の目標は。

武藤 手話を習得して会話をすることにより、耳

の聞こえない人の理解をしていきたいと思っていますし、そういった方の社会参加が図られればと思っています。また、心のバリアフリーを目指して子どもたちから関わらせ、町のあちこちで手話による会話をしている姿があればいいと思います。

問 町行政や町民の皆さんに望むことは。

武藤 大人の偏見を取り除けるような機会、大人を対象とした福祉講話の機会を作っていただきたいと思っています。一般町民がごく当たり前のように聞いている防災無線も耳の聞こえない方には全く

役に立たないので、防災無線に代わる情報提供の方法を行政には考えていただきたいと思っています。

また、耳の聞こえない方に対する近隣の助け合いネットワークの構築をお願いします。

川村 手話のできる人が1人でも多くなるような町にしていきたいと思っています。

武藤 役場に行っても福祉の担当者が来るまで待たされることもあるそうです。役場にも簡単な手話のできる職員を置いてほしいと思います。

代表 武藤 義富
講師 川村 義富



手話によるディスカッション

12月定例会日程

12月3日議会運営委員会
9日本会議開会

◇町長所信表明

◇町長議案一括上程
(承認14、議案43、54)

一括説明
◇各常任委員会付託
連合審査会

付託議案審査
17日本会議再開

◇付託議案総務委員長
報告

(承認14、議案43、52)
◇付託議案建設文教委員長報告

(議案53、54)
一括質疑・討論・採決

◇町長議案上程
(同意5)

説明・質疑・討論・採決
◇議員発議上程
(発議3)

説明・質疑・討論・採決
◇一般質問

◇議会運営委員会委員
選任

◇議会運営委員会互選
結果報告

◇市町村合併調査特別
委員会互選報告



お団子飾るの楽しいな！！



チクン、我慢してね ～BCG接種より～



貴方も挑戦しませんか？ ～男の料理教室～

クロスワードパズル

今号の賞品：「手作り味噌」とバナジウム水のセット

正解者のうち抽選で10名の方に、写真の手作り味噌に新開発のバナジウム水を添えてプレゼントします。二重枠に入る文字を並べ替えて、答えを完成させてください。

応募方法：答えと住所、氏名、電話番号、議会だよりを読んだ感想や議会へのご意見を書いて、はがき、FAX、E-Mail にてご応募ください。

締切は2月28日(当日消印有効)です。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

1		2	3	4
		5		
6	7		8	
9		10		
	11			



たてのかぎ

- 1、沿道に〇〇〇〇の響く箱根駅伝
- 2、新春かくし〇〇大会
- 3、風邪の季節、お世話になります
- 4、タコ足配線に注意！！
- 7、シャンプーの後、する人多いよね
- 10、京都西芳寺は別名「〇〇寺」

よこのかぎ

- 1、冬の体育館は超冷たいぞー...
- 5、言葉はいらない...「〇〇伝心」
- 6、初〇〇で賑わう築地市場
- 8、ダイエットが高じて激〇〇に
- 9、物まね名人の小鳥です
- 11、清水宏保、安藤美姫は何の選手？

ヒント

新春早々最大のヒント、町の花だよ！

〒403-0022 西桂町議会広報編集委員会
Tel 0555-25-2121 Fax 0555-20-2015
E-Mail gikai@town.nishikatsura.yamanashi.jp

編集メモ

昨年は観測史上最多の10個の台風の上陸をはじめ、新潟中越地震、浅間山の21年ぶりの噴火、また北海道東部の地震と、大きな自然災害が異常に発生しました。外国ではインドネシアのスマトラ島沖で起きた巨大地震と大津波の被害は史上空前の津波災害となりました。このような暗いニュースばかりの中、紀宮様のご婚約が相整い、めでたく発表に至ったことは国民として心からお祝いを申し上げ、明るい未来を願うべく、喜びの気持ちでいっぱいになりました。これから寒さが厳しくなります。健康にご留意なされ、議会だより編集に対するご意見、ご感想をお寄せ願いたいと思います。(滝口)

編集委員長 渡辺 正一
副委員長 滝口新一朗
委員 宮下 友義
委員 梅原 和男